

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年1月11日

【四半期会計期間】 第25期第2四半期(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

【会社名】 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

【英訳名】 Village Vanguard CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 白川篤典

【本店の所在の場所】 名古屋市名東区上社一丁目901番地

【電話番号】 052-769-1150(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 吉岡敏夫

【最寄りの連絡場所】 名古屋市名東区上社一丁目901番地

【電話番号】 052-769-1150(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 吉岡敏夫

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第24期 第2四半期 連結累計期間 | | 第25期 第2四半期 連結累計期間 | | 第24期 | |
|------------------------------|------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------|--|
| | | 自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日 | 自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日 | 自 平成23年6月1日 至 平成24年5月31日 | 自 平成23年6月1日 至 平成24年5月31日 | | |
| 売上高 | (千円) | 20,163,612 | 20,399,599 | 42,942,390 | | | |
| 経常利益 | (千円) | 1,553,568 | 1,151,485 | 3,514,580 | | | |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 751,033 | 586,927 | 1,553,166 | | | |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 743,751 | 586,182 | 1,539,553 | | | |
| 純資産額 | (千円) | 16,411,908 | 17,690,842 | 17,217,847 | | | |
| 総資産額 | (千円) | 30,498,981 | 33,898,921 | 30,440,445 | | | |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | 9,761.80 | 7,628.78 | 20,187.77 | | | |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 53.8 | 52.2 | 56.5 | | | |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 773,715 | 616,534 | 558,767 | | | |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 618,694 | 713,904 | 1,131,234 | | | |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 288,414 | 1,762,918 | 171,881 | | | |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 2,845,859 | 3,989,129 | 3,550,189 | | | |

| 回次 | | 第24期 第2四半期 連結会計期間 | | 第25期 第2四半期 連結会計期間 | |
|---------------|-----|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| | | 自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日 | 自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日 | 自 平成23年9月1日 至 平成24年11月30日 | 自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 4,506.85 | 3,427.02 | | |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成23年10月1日付けで株式分割を行いました。第24期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機の長期化や新興国における景気減速によるデフレ傾向が続く中、個人消費が冷え込み、雇用情勢も改善の動きに足踏みがみられるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、「モノを買う」という小売業の基本の在り方からその先にある「モノを買うという行為そのものの楽しさ」をお客様に提供することを目指してまいりました。

店舗展開につきましては、インショップへの出店を中心に推進し、当第2四半期連結累計期間における当社グループでは、直営店30店舗を出店し、直営店5店舗、FC店3店舗を閉鎖しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店480店、FC店17店の合計497店となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20,399,599千円と前年同四半期と比べ235,986千円（1.2%）の増収となりました。営業利益は1,091,049千円と前年同四半期と比べ404,332千円（27.0%）の減益となりました。また、四半期純利益は、586,927千円と前年同四半期と比べ164,105千円（21.9%）の減益となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(株)ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

(株)ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に楽しんでいただくため、今までになかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。各店舗では、書籍・SPICE（雑貨類）及びニューメディア（CD・DVD類）等の商材を融合させ、独自の「提案」を展開しております。主な業態としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、キッズを中心にファミリー層をターゲットにした「QK」、アメリカンスタイルをイメージした本格派ハンバーガーショップ「ヴィレッジヴァンガードダイナー」を運営しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、17,490,124千円と前年同四半期と比べ679,076千円（3.7%）の減収となりました。営業利益は604,911千円と前年同四半期と比べ548,727千円

(47.6%) の減益になりました。

店舗数につきましては、12店舗の新規出店、直営店4店舗、FC店3店舗の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店380店、FC店15店の合計395店となりました。

また、既存店売上高前年同四半期比では91.3%という結果になりました。その主な要因は、積極的な出店に店長育成が追い付かず、現場の提案力が弱まったことにあると認識しております。これに対し当社では、出店スピードを抑え、店舗ごとに異なる個性的な店づくりのできる人材の育成に重点的に取り組むことにより、現場の提案力の底上げを図ってまいります。

(株)チチカカ

(株)チチカカは、エスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。また、エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様の「HAPPY」と、生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE(ハッピートレード)」と名付け、幸せのかけはしを目指して、世界の仲間と共に成長することを心がけております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,883,853千円と前年同四半期と比べ909,549千円(46.1%)の増収となりました。営業利益は534,370千円と前年同四半期と比べ150,772千円(39.3%)の増益となりました。

また、店舗数につきましては、13店舗の新規出店、1店舗の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店92店、FC店2店の合計94店となりました。

その他

その他は、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにて、香港での書籍・SPICE及びニューメディアの販売、(株)Village Vanguard Webbedにてインターネットを通じて書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。

また、新たに、台湾、香港に連結子会社Village Vanguard (Taiwan) Limited 及びTITICACA HONGKONG LIMITEDを設立しました。

4社合計の当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は148,729千円と前年同四半期と比べ53,213千円(55.7%)の増収となりました。営業損失は58,850千円となり前年同四半期と比べ37,858千円減益となりました。

なお、店舗数につきましては、5店舗の新規出店を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店8店であります。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.3%増加し、27,989,264千円となりました。これは、商品及び製品が2,602,703千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、5,909,656千円となりました。これは、建物及び構築物が172,735千円、差入保証金が120,387千円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、33,898,921千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.7%増加し、9,727,016千円となりました。これは、買掛金が1,138,083千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて32.5%増加し、6,481,062千円となりました。これは、長期借入金が1,576,336千円、資産除去債務が43,448千円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ22.6%増加し、16,208,079千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、17,690,842千円となりました。これは、四半期純利益が586,927千円となったことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ438,939千円増加し、3,989,129千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用された資金は、616,534千円(前年同四半期は773,715千円の使用)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,163,342千円あったものの、たな卸資産の増加額が2,597,426千円、法人税等の支払額が631,363千円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用された資金は、713,904千円(前年同四半期は618,694千円の使用)となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が522,617千円、差入保証金の差入による支出が147,727千円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、1,762,918千円(前年同四半期は288,414千円の獲得)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が1,008,841千円あったものの、長期借入れによる収入が3,050,000千円あったためであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 198,000 |
| 計 | 198,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年11月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年1月11日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|-------------------------|
| 普通株式 | 76,936 | 76,936 | 大阪証券取引所 JASDAQ(ス タANDARD) | 当社は単元株制度を 採用しておりません。 |
| 計 | 76,936 | 76,936 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成24年11月30日 | | 76,936 | | 2,242,489 | | 2,219,406 |

(6) 【大株主の状況】

平成24年11月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|---|-------------------|--------------|------------------------------------|
| 菊地 敬一 | 愛知県長久手市 | 17,776 | 23.10 |
| メロンバンクエヌエートリーテイークライアント オムニバス(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行) | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 7,600 | 9.87 |
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 東京都港区浜松町2丁目11番3号 | 4,684 | 6.08 |
| 菊地 眞紀子 | 愛知県長久手市 | 4,320 | 5.61 |
| プレゼントバレー(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行) | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 3,116 | 4.05 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 東京都中央区晴海1丁目8番11号 | 3,026 | 3.93 |
| ザバンクオブニューヨークトリーティージャス デックアカウント(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行) | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 2,414 | 3.13 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 東京都千代田区大手町2丁目2番2号 | 2,182 | 2.83 |
| ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロ ンドン エス エル オムニバス アカウント(常 任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済 営業部) | 東京都中央区月島4丁目16番13号 | 2,156 | 2.80 |
| ヒルクレスト エルピー(常任代理人 株式会社三 菱東京UFJ銀行) | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 1,874 | 2.43 |
| 計 | | 49,148 | 63.88 |

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 4,684株

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 3,026株

野村信託銀行株式会社(投信口) 2,182株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年11月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 76,936 | 76,936 | |
| 単元未満株式 | | | |
| 発行済株式総数 | 76,936 | | |
| 総株主の議決権 | | 76,936 | |

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年9月1日から平成24年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年6月1日から平成24年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,570,189 | 4,009,129 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,934,897 | 1,820,124 |
| 商品及び製品 | 18,669,232 | 21,271,936 |
| その他 | 750,135 | 892,835 |
| 貸倒引当金 | 9,920 | 4,761 |
| 流動資産合計 | 24,914,535 | 27,989,264 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,880,715 | 2,053,450 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,987 | 1,559 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 715,946 | 807,256 |
| 建設仮勘定 | 98,016 | 96,287 |
| 有形固定資産合計 | 2,696,666 | 2,958,554 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア仮勘定 | 173,150 | 203,293 |
| その他 | 39,388 | 38,079 |
| 無形固定資産合計 | 212,538 | 241,372 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 2,075,691 | 2,196,079 |
| その他 | 601,628 | 586,288 |
| 貸倒引当金 | 60,615 | 72,638 |
| 投資その他の資産合計 | 2,616,705 | 2,709,729 |
| 固定資産合計 | 5,525,910 | 5,909,656 |
| 資産合計 | 30,440,445 | 33,898,921 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,818,360 | 4,956,444 |
| 短期借入金 | 404,000 | 286,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,856,444 | 2,321,267 |
| 未払金 | 773,560 | 739,600 |
| 未払法人税等 | 656,561 | 607,222 |
| 未払消費税等 | 91,859 | 25,549 |
| 賞与引当金 | 93,182 | 98,079 |
| 株主優待引当金 | - | 48,150 |
| 資産除去債務 | 20,779 | 19,494 |
| その他 | 597,522 | 605,207 |
| 流動負債合計 | 8,332,270 | 9,727,016 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日) |
|----------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 社債 | 50,000 | 40,000 |
| 長期借入金 | 3,308,222 | 4,884,558 |
| 長期未払金 | 355,530 | 325,603 |
| 退職給付引当金 | 151,573 | 165,132 |
| 役員退職慰労引当金 | 240,182 | 236,806 |
| 資産除去債務 | 711,232 | 754,680 |
| その他 | 73,586 | 74,281 |
| 固定負債合計 | 4,890,327 | 6,481,062 |
| 負債合計 | 13,222,597 | 16,208,079 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,242,489 | 2,242,489 |
| 資本剰余金 | 2,219,406 | 2,219,406 |
| 利益剰余金 | 12,755,406 | 13,234,624 |
| 株主資本合計 | 17,217,302 | 17,696,519 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 17,301 | 11,842 |
| その他の包括利益累計額合計 | 17,301 | 11,842 |
| 新株予約権 | 10,137 | 4,659 |
| 少数株主持分 | 7,709 | 1,505 |
| 純資産合計 | 17,217,847 | 17,690,842 |
| 負債純資産合計 | 30,440,445 | 33,898,921 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 20,163,612 | 20,399,599 |
| 売上原価 | 11,615,019 | 11,652,448 |
| 売上総利益 | 8,548,592 | 8,747,151 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,053,210 | 7,656,101 |
| 営業利益 | 1,495,382 | 1,091,049 |
| 営業外収益 | | |
| 仕入割引 | 44,666 | 39,704 |
| 業務受託料 | 40,391 | 39,423 |
| その他 | 26,337 | 37,727 |
| 営業外収益合計 | 111,395 | 116,855 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 45,570 | 44,183 |
| その他 | 7,640 | 12,236 |
| 営業外費用合計 | 53,210 | 56,419 |
| 経常利益 | 1,553,568 | 1,151,485 |
| 特別利益 | | |
| 移転補償金 | 8,577 | 45,811 |
| その他 | - | 5,477 |
| 特別利益合計 | 8,577 | 51,289 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,034 | - |
| 退職給付費用 | 66,509 | - |
| 減損損失 | 73,268 | 34,376 |
| その他 | 76 | 5,056 |
| 特別損失合計 | 141,888 | 39,432 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,420,257 | 1,163,342 |
| 法人税等 | 673,673 | 582,952 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 746,583 | 580,390 |
| 少数株主損失() | 4,449 | 6,537 |
| 四半期純利益 | 751,033 | 586,927 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 746,583 | 580,390 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 2,832 | 5,792 |
| その他の包括利益合計 | 2,832 | 5,792 |
| 四半期包括利益 | 743,751 | 586,182 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 748,767 | 592,386 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 5,016 | 6,203 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,420,257 | 1,163,342 |
| 減価償却費 | 252,172 | 275,233 |
| 減損損失 | 73,268 | 34,376 |
| のれん償却額 | 27,602 | - |
| 売上債権の増減額（は増加） | 12,239 | 105,365 |
| たな卸資産の増減額（は増加） | 2,228,182 | 2,597,426 |
| 仕入債務の増減額（は減少） | 556,721 | 1,133,043 |
| その他 | 45,178 | 54,830 |
| 小計 | 134,778 | 59,104 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,259 | 925 |
| 利息の支払額 | 45,555 | 45,200 |
| 法人税等の支払額 | 864,197 | 631,363 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 773,715 | 616,534 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 360,735 | 522,617 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 5,847 | 15,783 |
| 差入保証金の差入による支出 | 208,965 | 147,727 |
| その他 | 43,146 | 27,776 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 618,694 | 713,904 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（は減少） | 66,000 | 118,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,200,000 | 3,050,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 869,736 | 1,008,841 |
| 社債の償還による支出 | 10,000 | 10,000 |
| 長期未払金の増減額（は減少） | 9,539 | 43,058 |
| 配当金の支払額 | 107,388 | 107,181 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 288,414 | 1,762,918 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,201 | 6,459 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 1,106,196 | 438,939 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,952,056 | 3,550,189 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,845,859 | 3,989,129 |

【会計方針の変更等】

| |
|---|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日) |
| (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| | |
|---|--|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日) | |
| 税金費用の計算 | 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日) |
|--------------|--|--|
| 役員報酬 | 60,978千円 | 71,747千円 |
| 給料・手当 | 2,761,117 " | 3,013,035 " |
| 賞与引当金繰入額 | 99,082 " | 98,079 " |
| 退職給付費用 | 22,090 " | 23,395 " |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 20,104 " | 3,375 " |
| 水道光熱費 | 229,591 " | 263,255 " |
| 消耗品費 | 242,545 " | 216,880 " |
| 減価償却費 | 252,172 " | 275,233 " |
| のれん償却額 | 27,602 " | |
| 賃借料 | 1,864,245 " | 1,962,080 " |
| 支払手数料 | 301,953 " | 407,567 " |
| 貸倒引当金繰入額 | | 6,863 " |
| 株主優待引当金繰入額 | | 48,150 " |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金 | 2,865,859千円 | 4,009,129千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 20,000 " | 20,000 " |
| 現金及び現金同等物 | 2,845,859千円 | 3,989,129千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年8月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 107,710 | 2,800 | 平成23年5月31日 | 平成23年8月26日 | 利益剰余金 |

(注) 当社は平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。1株当たり配当額は、当該株式分割が行われる前の配当額を記載しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年8月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 107,710 | 1,400 | 平成24年5月31日 | 平成24年8月27日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------------|-----------|--------------|------------|--------------|---------------------------|
| | ㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション | ㈱チチカカ | その他 (注) 3 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 18,154,962 | 1,913,133 | 95,516 | 20,163,612 | | 20,163,612 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 14,237 | 61,170 | | 75,408 | 75,408 | |
| 計 | 18,169,200 | 1,974,303 | 95,516 | 20,239,021 | 75,408 | 20,163,612 |
| セグメント利益又は損失 () | 1,153,638 | 383,597 | 20,992 | 1,516,244 | 20,861 | 1,495,382 |

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 20,861千円には、のれん償却額 27,602千円及びセグメント間取引消去6,741千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard(Hong Kong)Limited及び㈱Village Vanguard Webbedであり、書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------------------|-----------|--------------|------------|--------------|---------------------------|
| | (株)ヴィレッジヴァンガードコーポレーション | (株)チチカカ | その他 (注) 3 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,387,744 | 2,863,124 | 148,729 | 20,399,599 | | 20,399,599 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 102,379 | 20,729 | | 123,108 | 123,108 | |
| 計 | 17,490,124 | 2,883,853 | 148,729 | 20,522,708 | 123,108 | 20,399,599 |
| セグメント利益又は損失 () | 604,911 | 534,370 | 58,850 | 1,080,430 | 10,619 | 1,091,049 |

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額10,619千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard(Taiwan) Limited、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失()に与える影響は軽微であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 9,761円80銭 | 7,628円78銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 751,033 | 586,927 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 751,033 | 586,927 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 76,936 | 76,936 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | | |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | | |
| 普通株式増加数(株) | | |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりませ

ん。

2. 当社は平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月11日

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安藤 泰行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥谷 浩之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 村井 達久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションの平成24年6月1日から平成25年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション及び連結子会社の平成24年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。